



さっぽろ連携中枢都市圏『まちづくりパートナー協定』の締結について

SOMPOひまわり生命保険株式会社（社長：大場 康弘、以下「当社」）と損害保険ジャパン株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン」）は、地域の活性化およびさっぽろ連携中枢都市圏（以下、さっぽろ圏）の住民サービスの向上を図るため、2020年8月31日にさっぽろ圏を構成する12市町村と『まちづくりパートナー協定』を締結したことをお知らせします。

1. 背景・経緯

- ・当社と損保ジャパンは、市民・行政・NPO/NGOなど、さまざまなステークホルダーの皆さまとの協働を通じ、「よりよいコミュニティ・社会をつくること」をCSR（企業の社会的責任）の重点課題のひとつとしています。
- ・当社は、お客さまの安心・安全・健康な暮らしを支える保険会社として、地域と産業の安定的繁栄を支援するノウハウを活かし、さっぽろ圏の住民の皆さまへさらなるサービスの向上と地域の活性化に貢献するため、損保ジャパンとともにさっぽろ圏を構成する12市町村との包括的な連携協定の締結に至りました。

「さっぽろ連携中枢都市圏12市町村」

札幌市、小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町

2. 協定の目的

さっぽろ圏と当社、損保ジャパンが相互に緊密な連携を図り、地域のさまざまな課題に迅速かつ適切に対応し、さっぽろ圏における地域の活性化および住民サービスの向上に寄与することを目的とします。

3. 協定の主な内容

当社と損保ジャパンの強みや特徴を活かせる以下の5分野において連携を行います。

- (1) 住民の健康づくりを応援するまちづくり
- (2) 圏域の魅力を発信するまちづくり
- (3) 地域に根ざしたまちづくり
- (4) 女性の活躍と青少年の健全育成に貢献するまちづくり
- (5) その他両者の協議により決定した事項

4. 今後について

当社と損保ジャパンは、今後も地方自治体と連携し、各地域がそれぞれの特徴を活かした自立的で持続的な社会を創造することに貢献していきます。

以上